

# 防災気象情報に関するアンケート (2016年11月実施) 【概要】

静岡大学防災総合センター  
牛山 素行  
disaster-i.net

Shizuoka University

## 調査手法

- インターネット社会調査サービスであるNTTコムリサーチ(NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社運営)を利用。
  - 登録しているモニターに対して調査依頼のメールを配信し、これに応じた回答者から先着順に一定数までの回答を受け付ける方式。
    - 割当法. 目標回収数に達したら受付を終了, あるいは予定数に達するまで依頼を続ける方法
  - すべての質問について回答を入力しないと次画面に進めない仕様としており, 「無回答」は存在しない。
- 対象者
  - 盛岡市, 静岡市, 名古屋市在住者
    - 2010年, 2013年にも同じ地域を対象に類似の調査を実施. ただし同一回答者ではない
    - 回答依頼メール2016年11月11日配信, 11月15日締切. 有効回答数553件.

Shizuoka University

## 避難準備情報等に対する認識

災害時に、市町村から、「避難勧告」など、下の表に挙げた言葉の情報が出されることがあります。これらの情報が、市町村から出される場合があることをご存じでしたか。

### 【情報の種類】

- 避難勧告
- 避難指示
- 避難準備情報

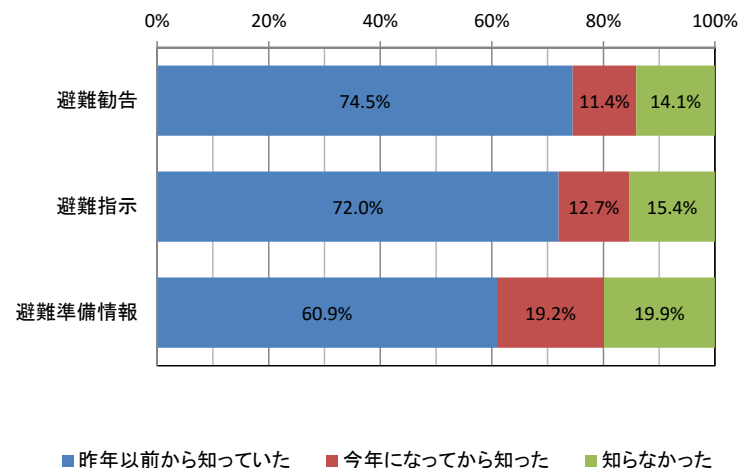
### 【選択肢】

- 昨年以前から知っていた
- 今年になってから知った
- 知らなかった

Shizuoka University

## 避難準備情報等に対する認識

災害時に、市町村から、「避難勧告」など、下の表に挙げた言葉の情報が出されることがあります。これらの情報が、市町村から出される場合があることをご存じでしたか。



- 避難準備情報の言葉を認知している回答者が80.1%
- 「今年になったから知った」は避難準備情報でやや多い

Shizuoka University

# 避難準備情報 が出た際に実行する行動について

「避難準備情報」が出た場合に、実行した方が良い行動にはどのようなものがあると思いますか。次の行動のうち、当てはまると思うものを選択して下さい。  
※「災害時要配慮者」とは、高齢者、障害者、乳幼児など、災害時の安全確保に特に配慮を要する人のことです。

## 【行動の種類】

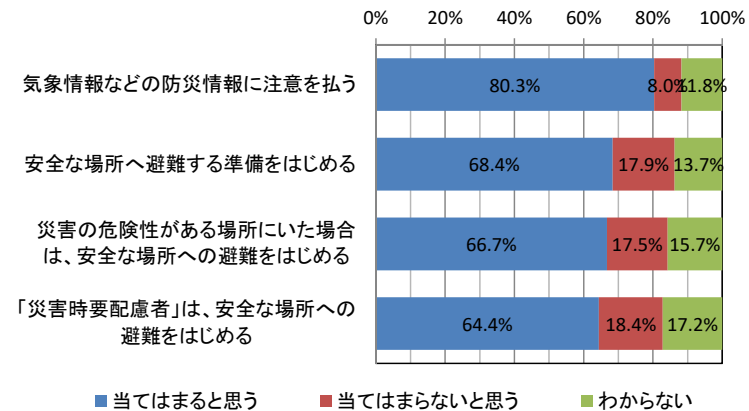
- 気象情報などの防災情報に注意を払う
- 安全な場所へ避難する準備をはじめ
- 災害の危険性がある場所にいた場合は、安全な場所への避難をはじめ
- 「災害時要配慮者」は、安全な場所への避難をはじめ

## 【選択肢】

1. 当てはまると思う
2. 当てはまらないと思う
3. わからない

# 避難準備情報が出た際に実行する行動

「避難準備情報」が出た場合に、実行した方が良い行動にはどのようなものがあると思いますか。次の行動のうち、当てはまると思うものを選択して下さい。



• 避難準備情報の意味は6割以上が認知  
• 「避難する準備」と「要配慮者避難開始」を「当てはまる」とした回答者の比率はほとんど差がない

# 「要配慮者避難開始情報」 が出た際に実行する行動について

仮に「要配慮者避難開始情報」という情報が出たとしたら、実行した方が良い行動にはどのようなものがあると思いますか。次の行動のうち、当てはまると思うものを選択して下さい。  
※「要配慮者避難開始情報」という情報は、実際には存在しません。

## 【行動の種類】

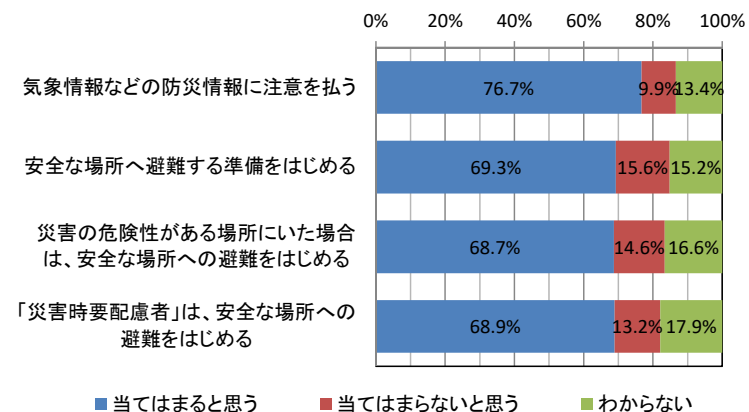
- 気象情報などの防災情報に注意を払う
- 安全な場所へ避難する準備をはじめ
- 災害の危険性がある場所にいた場合は、安全な場所への避難をはじめ
- 「災害時要配慮者」は、安全な場所への避難をはじめ

## 【選択肢】

1. 当てはまると思う
2. 当てはまらないと思う
3. わからない

# 「要配慮者避難開始情報」が出た際に実行する行動

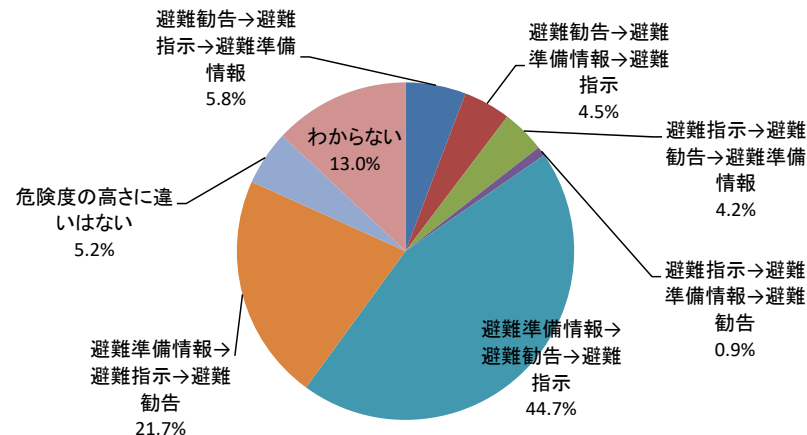
仮に「要配慮者避難開始情報」という情報が出たとしたら、実行した方が良い行動にはどのようなものがあると思いますか。次の行動のうち、当てはまると思うものを選択して下さい。



• 「要配慮者避難開始情報」とした場合でも、「要配慮者避難開始」を「当てはまる」とした回答者の比率は7割程度で、「避難準備情報」の場合とほとんど変わらない

# 避難勧告等の危険度の順序に対する認識

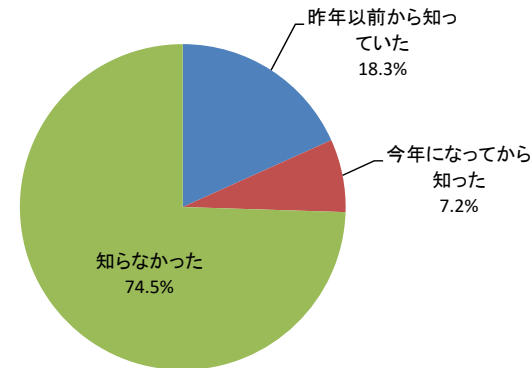
「避難勧告」などの情報が出されるとき、その地域における災害の危険度の高さに違いがあると思いますか。次の中から、最も当てはまると思うものを選択してください。



- 「準備→勧告→指示」と正しく認知は44.7%.
- 避難準備情報の危険度が最も低いと認知している回答者は66.4%

# 避難所の意味に対する認識

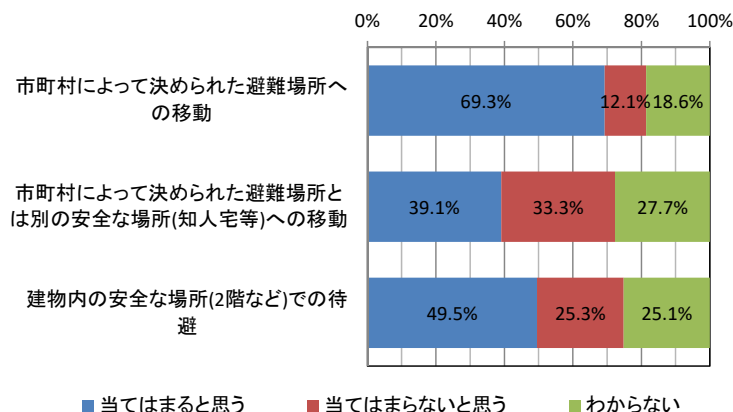
市町村によって決められている避難所には、災害の種類によっては使用しない(※)ことになっている場合があります。このことをご存じでしたか。  
※たとえば、地震の際には使用するが、大雨の際には使用しないなど。



- 避難所・避難場所は災害の種類によって異なることを、7割以上の人が認知していない

# 避難勧告時の避難行動に対する認識

大雨による災害時に、市町村から「避難勧告」などが出た場合の、適切な避難行動としてはどのようなものがあると思いますか。



- 避難所以外への避難や、「垂直避難」が避難行動であるとする回答者は4~5割程度
- 3割前後は、避難所以外への避難や、「垂直避難」は適切でない(当てはまらない)と考えている

# 要点

- 「避難準備情報」の言葉自体は「避難勧告」と同程度に認知されている
  - 「避難準備情報」の言葉自体は8割程度が認知。「避難勧告」「避難指示」に比べやや低いとその差は数%程度
- 「避難準備情報=避難の準備」とだけ誤認されているわけではない
  - 避難準備情報の意味(避難準備情報が出た際に実行する行動)は6割以上の回答者が認知。
  - 「避難する準備」と「要配慮者避難開始」を「当てはまる」にほとんど差がない。
- 「要配慮者避難開始情報」と「避難準備情報」で大差はない可能性
  - 「要配慮者避難開始情報」とした場合でも、「要配慮者避難開始」を「当てはまる」とした回答者の比率は7割程度で、「避難準備情報」の場合とほとんど変わらない。
- 避難勧告等の危険度の順序性が十分理解されていない
  - 「避難準備情報→避難勧告→避難指示」の順で危険度が高まる、と認識している人は4割強。「避難準備情報→避難指示→避難勧告」を合わせても7割弱。
- 「避難とは避難所への移動だけではない」ということが理解されていない
  - 避難所・避難場所は災害の種類によって異なることは7割以上が認知していない
  - 避難所以外への避難や、「垂直避難」が避難行動と考える回答者は4~5割程度
- 避難準備情報だけに特別な問題があるわけではなく、避難にかかわる情報全体に大きな課題が存在している可能性